

6月定例会号

No.53 | 令和3年【2021】
8月8日発行（年4回発行）

主な記事

- 2～3面 令和3年6月定例会の概要
- 4～5面 県議会議員紹介
- 6～7面 県議会のしくみ/県議会議員の仕事/
議案を議決するまでの流れ/各委員会の紹介
- 8面 県議会からのお知らせ

わかやま 県議会だより

WAKAYAMA PREFECTURAL ASSEMBLY

今号の注目ワード

ふるさと誕生日

11月22日はふるさと誕生日です。
明治4年(1871年)11月22日、和歌山・
田辺・新宮の3県が統合。
現在の和歌山県
が誕生し、今年
で150年を迎え
ます。



太平洋岸自転車道記念モニュメント



すずき たいゆう
鈴木 太雄 副議長

もり れいこ
森 礼子 議長

和歌山県誕生150年

次代へつなぐ 和歌山の未来

新しく議長、副議長に就任したお二人にお話を伺いました。

議長、副議長に就任した今のお気持ちを
お聞かせください。

森 礼子 議長 身に余る光栄であり、
責任の重さにとっても緊張しています。こ
れからも、信頼される議会運営に努めて
まいります。

鈴木 太雄 副議長 大変光栄である
とともに、責任の重さを痛感しています。
森議長とともに、県民の皆様からより信
頼される議会運営に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症対策ほか活動
のテーマをお伺いします。

森 議長 私は、これまで観光や福祉
といったテーマを中心に活動が続けてき
ました。これからは、地元の「食」を学べ
る環境づくりに取り組んでいきたいと思
っています。

また、コロナ禍で大きな打撃を受けて
いる飲食業や観光に関連する業種などへ
の支援と、その後の県経済の再生に注力
していかなければならないと思っています。
です。

鈴木 副議長 和歌山では、農林水産
業の振興を図ることが重要だと考えてい
ます。また、もう一つの柱として、観光
産業の振興も推し進めてまいります。
コロナ禍により県民の皆様、事業者の
皆様が大きな影響を受けていることは
重々承知しています。やはり、今はコロ
ナ対策をしっかり行い、後に反攻勢と
なるような施策を展開することが現状で
最も重要であると考えています。

紀伊半島大水害、東日本大震災から10年
が経ちました。防災について、どのよう
にお考えですか。

森 議長 10年前の震災以降、各地域
において防災訓練が頻繁に実施されてい
ます。防災訓練を継続して行うことは非
常に重要であるのももちろんです。同時
に私は、日頃から地域の方々とつながり
を深め、その関係の中で、「地域力を身

につけることが命を守ることにつながる
と思います。

濱口梧陵先生の勇気をもった行動が
「世界津波の日」の制定に大きく寄与した
と思います。和歌山が防災のモデル地域
になるようしっかりと努めてまいります。

鈴木 副議長 私達は、紀伊半島大水
害を経験し、この未曾有の災害から立ち
上がってきました。この経験が今の防災
対策に活かされていると思います。特に、
災害に強い社会インフラの整備や多くの
方々に御参加いただく防災訓練など、
ハード面、ソフト面ともに充実してい
りました。これからもさらに充実させる
ことにより、尊い人命を守ることにた
げてまいりますと考えています。

今年で和歌山県が誕生し、150年を迎
えます。今後の抱負をお聞かせください。

森 議長 150年の間築かれてきた
先輩方の功績を継承し、さらに多様な発
信をしていきたいと考えます。

また、県民の皆様が信頼していただ
ける議会運営、公平で公正な議会運営に、
しっかりと努めてまいります。

鈴木 副議長 「温故知新」という言葉
のとおり、これまでの歴史、文化をしっ
かり見つめ直し、新しい力となるよう
な取組につなげていきたいと考えます。

